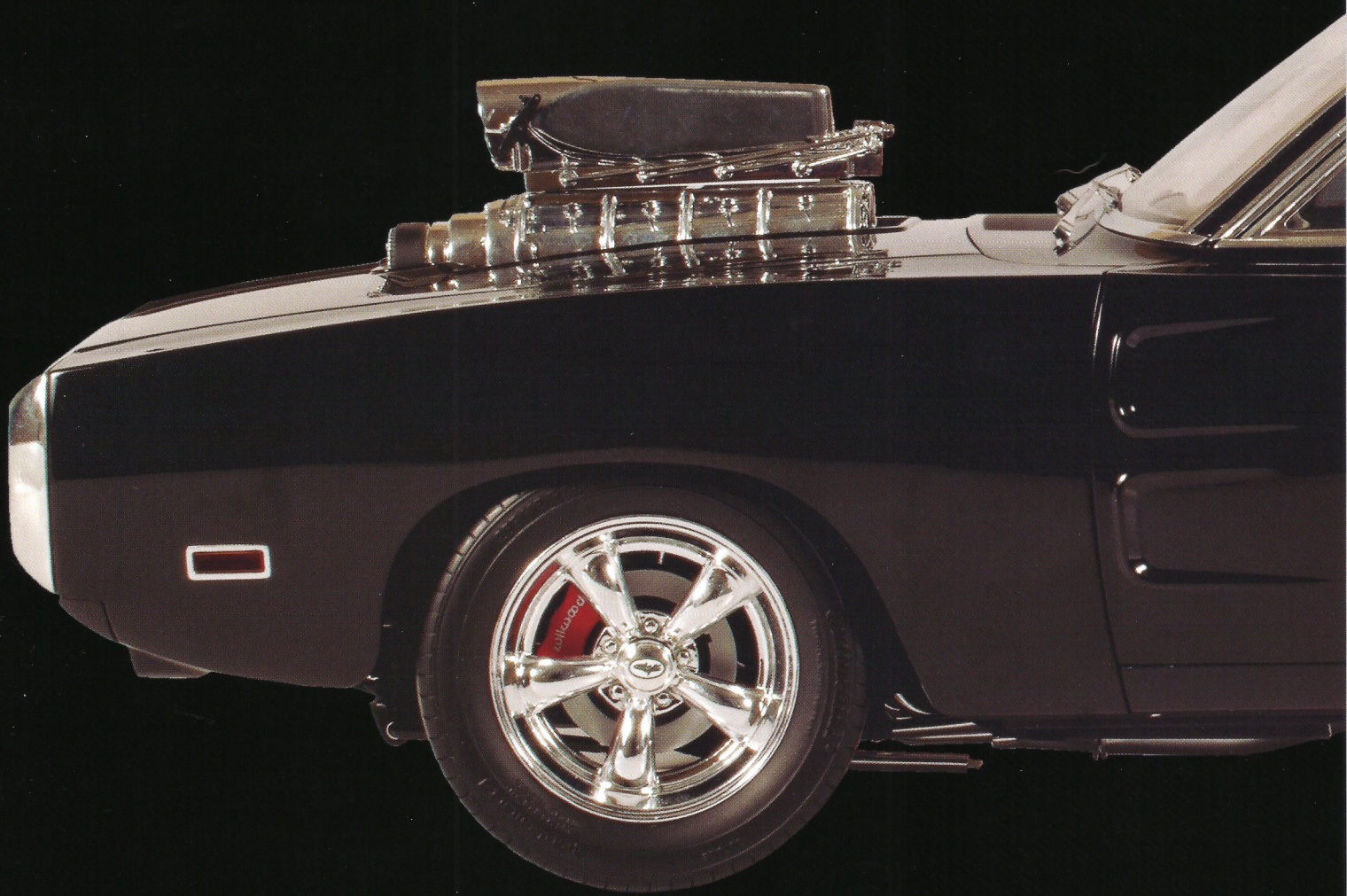
ワイルドスピード

84

ダッジ・チャージャー R/T

DODGE CHARGER R/T



UNIVERSAL

DeAGOSTINI

DODGE
OFFICIAL LICENSED PRODUCT

ワイルドスピード
ダッジ・チャージャー R/T
DODGE CHARGER R/T

84 Contents

『ワイルド・スピード』ワールド …… 1-3

デッカードが乗るモンスターカー、ファーストアタックバギー

全身が鋭利な刃物のようなデッカード・ショウというキャラクターには、洗練された高級車も、荒っぽい立ち回りに適したファーストアタックバギーも似つかわしい。

組み立てガイド …… 4-7

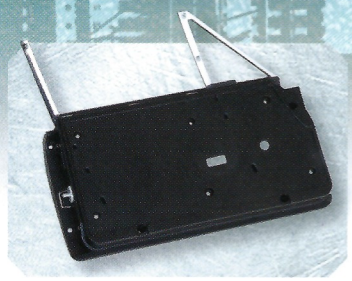
インナードアハウジング・左を組み立てる

インナーハウジングにドアロックピンを設置しよう。

ダッジヒストリー …… 8

ダッジ・アティテュード

1998年、ダイムラー・ベンツ・グループとクライスラー社は合併し、新たな市場に参入することが決定した。その結果、メキシコで投入されたのがダッジ・アティテュードである。





週刊『ワイルド・スピード ダッジ・チャージャー R/T』第84号

[発行日] 2021年10月26日
[発　行] 株式会社デアゴスティーニ・ジャパン
〒104-0054　東京都中央区勝どき5-2-15　EDGE勝どき
[発行人] 谷 健二
[編集人] 加藤美香子
[アートディレクター] 今福健司
[印　刷] 株式会社大丸グラフィックス

©2021 K.K. DeAgostini Japan　All Rights Reserved.
©2021 Editorial Planeta DeAgostini, S.A.U.

[編集協力] 合同会社けんじん社、株式会社T's クリエイト
[デザイン] 鈴木真樹
[校　正] 株式会社ぷれす
[写真協力] NBCUniversal Archive

©2021 Universal City Studios LLC.　All Rights Reserved.

Dodge and related logos, vehicle model names and trade dress are trademarks of FCA US LLC and used under license by Editorial Planeta DeAgostini, S.A.U.

この作品に登場するすべてのカー・アクション・シーンは、撮影のために封鎖した道路で万全な準備を整えた上で訓練を受けたプロのスタントマンが行っています。
一般道路での暴走行為は大変危険であり、現実には違法行為にあたりますので絶対にまねをしないでください。

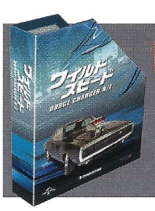
■お客様サポートのご案内

● WEB上でも、お客様からのよくある質問と回答を掲載しています。
デアゴ　よくある質問　検索

● メールでのお問合せ
※Webで会員登録が必要です。
https://deagostini.jp/support/mail

■お客様サポートセンター（本誌関連の一般的な質問を承ります）

TEL 0570-008-109（月～金10:00～18:00　土日祝日除く）
※間違い電話が大変多くなっております。お電話の際は電話番号をよくお確かめください。



特製マガジンケース発売中！

1冊に本誌を37号分収納できる特製マガジンケースを通常価格1冊1,353円（10%税込）で販売しています。お近くの書店または専用ウェブサイトよりお求めください。

■定期購読のご案内

週刊『ワイルド・スピード ダッジ・チャージャー R/T』は毎週火曜日発売のマガジンシリーズです（一部地域を除く）。シリーズは全110号で完結します。シリーズ全号が確実にお手元に届くように、書店を通じての定期購読をお勧めいたします。最寄りの書店で、定期購読または予約購読をご用命ください。また、直接定期購読を希望される方は、次のいずれかの方法でお申し込みください。

1. お客様受注センターに電話またはファクスで
TEL：0120-300-851（10:00～18:00　年末年始を除く）
FAX：0120-834-353（定期購読申し込み用紙をお送りください。24時間受付）
2. インターネットで
https://deagostini.jp/dod/ ※PC、スマートフォンからも同じURLでアクセスできます（24時間受付）
3. 定期購読申し込み用紙を郵送
「定期購読のお知らせ」がお手元にない場合はお客様受注センターまでご連絡ください。

※最寄りの書店でも定期購読または予約購読をご利用いただけます。

お買い忘れなく安心！ 発売日をメールでお知らせします！ ご登録ください
発売日 お知らせメール♪
https://deagostini.jp/oshirase/dod

■バックナンバー注文のご案内

本誌のバックナンバーは最寄りの書店でご注文ください。なお、バックナンバーの在庫数には限りがございますので、その旨ご了承ください。直送（別途送料要、代引き）のご注文も承っております。上記お客様受注センターまでお問い合わせください。

※本誌の記事、写真、絵画等を無断で複写（コピー）、転載することを禁じます。

※本誌は都合により、刊行サイクルが変更されたり、休刊となることがありますので、予めご了承ください。
※本誌は号によりパッケージの形態・デザインが異なる場合があります。
※本誌に掲載している商品のデザイン・仕様等は、実際にご提供するものと一部異なる場合がございます。

本誌の最新情報をCheck!
デアゴ　ワイスピ　検索

【個人情報の取扱いについて】＊お申し込み前に下記を必ずお読みください。
ご提供いただく個人情報は、商品の発送、アフターサービス・新商品・サービス等 の各種ご案内の提供、各種商品情報やお問い合わせへの回答、および商品開発およびサービス改善のためのデータ分析のみに利用します。お客様の個人情報は、弊社と同等以上の管理体制を有している委託先への業務委託、法令等の規定に基づく場合を除き、第三者提供をすることはありません。業務委託のうち、クレジットカード決済に関しましては、弊社と同等以上の管理体制を有する決済処理サービス会社に委託しております。個人情報のご提供はお客様の任意ですが、項目に未記入部分がある場合、お申し込みの手続きができない場合もあります。個人情報の利用目的の通知、開示・内容の訂正・追加・削除・利用の停止・消去お よび第三者への提供の停止をご希望される場合は、下記にお問い合わせ願います。
個人情報保護相談受付窓口（03-6730-3793　土日、祝日、年末年始、夏季休暇を除く10:00～18:00）
株式会社デアゴスティーニ・ジャパン　個人情報コンプライアンス担当
弊社の個人情報、公表事項も合わせてご覧下さい。https://deagostini.jp/security/

プライバシーマーク 1019077(08)



デッカードが乗るモンスターカー、ファーストアタックバギー

“ワイスピ”の世界に登場する車はどれも個性的だが、その一台一台がキャラクターの個性も作り出している。ドミニク・トレットならパワー、ブライアン・オコナーならスピードといった具合だ。では、デッカード・ショウという、全身が鋭利な刃物のようなキャラクターに合うのは、どんな車だろうか。その幅は実に広い。洗練された高級車も、荒っぽい立ち回りに適したファーストアタックバギーも似つかわしい。

シリーズの新作を迎えるたびに新たなチャレンジに胸をふくらませる、カー・スーパーバイザーのデニス・マッカーシー。生涯を通じて熱烈な車好きで、その情熱がプロとしてのキャリアにまで発展したほどだ。そんなマッカーシーでも、作中に登場する車の選定を任されるというのは、大変な重責だ。なにしろ、専門家仲間の厳しい評価に耐えるだけでなく、熱烈にシリーズを応援し続けてくれるファンも楽しませる必要があるのだから。

ショウの車の数々

『ワイルド・スピード SKY MISSION』（2015年）でもマッカーシーは、車でどんなことができるのか、その限界を見せつける驚異のアクションシーンを次々と生み出し、彼ほど適した人材はほかにいないということを改めて見せつけた。

マッカーシーは、こう話している。「この映画のために、300台くらいの車を集めた。その中で『第1撮影ユニット車』、つまりメインキャラクターが乗り、細部までスクリーンに映る車に選ばれたのはほんの一握り。それ以外の車はアクションシーンや様々な用途に使ったんだ」

いつもどおり、マッカーシーは、キャラクターの個性に合わせて車を割り当てた。だが、『SKY MISSION』ではそこに超重要なキャストが加わっている。デッカード・ショウだ。観客に多様な面を見せることになるキャラクターである。エレガントで洗練された身のこなしから、激しい戦闘まで披露するキャラクターを描き出すには、車の種類も豊富にそろえる必要がある。

↑『ワイルド・スピード SKY MISSION』の劇中でデッカード・ショウがハンドルを握る車はバラエティーに富んでいる。敵を寄せつけないモンスターカー、ファーストアタックバギーはその中の一つだ

デッカードが乗るモンスターカー、ファーストアタックバギー



↑ ファーストアタックバギーは、第二次世界大戦中に考案された戦闘用の車両を参考にして開発されたものだ

ハンドルを握った車の多彩さという点では、明らかにこの男が断トツだろう。2014年式ジャガー・FタイプR、2004年式アストンマーティンDB9、2010年式ランボルギーニ・アヴェンタドール、そして2014年式マセラティ・ギブリなど、そうそうたる名車ばかりだ。ただし、これらの車にデッカードの「戦闘的」な面は反映されていない。そこで、マッカーシーが用意したのが“ファーストアタックバギー”と呼ばれる戦闘車両だった。

ファーストアタックバギー

源流をたどると、この車はもともと第二次世界大戦中にフォルクスワーゲンが作ったもので、そのときの名前はキューベルワーゲン(82型)だった。このモデルを参考にして、後年アメリカのメーカー、チェナスレーシングが1980年から米軍の第9歩兵師団向けに開発したのが、ファーストアタックバギーである。DPV(砂漠パトロール車両)とも呼ばれる軽装甲車で砂漠のパトロールにあたり、敵の攻撃があった場合は迅速に対応する。こうした戦闘用バギーには、動作の軽快性と、高度な機動性が欠かせない。それを実現したのが、150馬力のフォルクスワーゲン製リアエンジンで、容量約80リットルの標準燃料タンクだ。DPVは680kgの荷物を積むことができ、停止状態から50km加速するのにわずか4秒、最高時速は130kmに達する。初期のモデルは重火器を搭載することを目的としたが、すぐにそれが現実的ではないと判明する。軽量であるがゆえに、重火器の反動でひっくり返ってしまうからだった。最終的に、軽機関銃だけを装備することになった。1999年からは、DPVに代わって新しいIFAV(重火器を搭載した小型軍用車両・偵察戦闘車)の導入が進んだ。こちらは、メルセデス・ベンツG290Dがベースになっている。

共用パーツを使う試み

これほどにも多種多様な車を扱わねばならないことが判明すると、マッカーシーは仕事を少しでも簡単にするために、できるだけ共通のパーツを使うことを試みる。例えば、以前から何度かスタントドライバーに言われていた問題があった。車ごとに違う馬力に順応するのは大変だというのだ。そこでマッカーシーが『SKY MISSION』で試みたのが、ダッジの新しいV8エンジンをベースにして、主人公たちの車すべてでパワートレイン(動力伝達装置)を統一することだった。

「成功の証は、車のトラブルによる撮影の遅延が一度も起こらなかったことだ」と、マッカーシーは説明している。本当はエンジンまわりだけでなく、他のパーツ、例えばシャーシも標準化したかったのだという。「どの車にも共通の同じシャーシを使う、それが私の思い描いたプランだった。だが、実際には難しく、時間もなかった」

それでも、前半のクライマックスでドミニクが乗るオフロード仕様のダッジ・チャージャーと、ショウのファーストアタックバギーだけには、どうにか同じシャーシを使うことができた。どんな地形でも走破できるよう、CAD

ジェイス・ジーンズ（スタント）

50本以上の映画に参加経験のあるジェイス・ジーンズ。ハリウッドのスタント俳優の中で、今やその名を知らない者はいない。1977年1月28日、テキサス州ヒューストンに生まれたジェイスは、その敏しょうさと恵まれた肉体を、まず『エイリアス』や『ザ・シールド ルール無用の警察バッジ』『24-TWENTY FOUR-』『トゥルーブラッド』といったテレビドラマでいかんなく発揮する。その後、リブート版『スター・トレック』（2009年）で映画にも進出するが、本格的な映画デビュー作となったのは、『ウォーリアー』（2011年）だ。この作品で、トム・ハーディのスタントを演じたうえに、端役ながら格闘家の一人を演じるチャンスをつかんだのである。そして『キック・オーバー』（2012年）、『アウトロー』（2012年）、『エンド・オブ・ホワイトハウス』（2013年）、『オールド・ボーイ』（2013年）などのアクション映画に参加したのち、大物俳優のジェイソン・ステイサムと組むようになった。彼の専属スタントとして、『バトルフロント』（2013年）や『エクスペンダブルズ3 ワールドミッション』（2014年）、『WILD CARD／ワイルドカード』（2015年）、『SPY/スパイ』（2015年）、『メカニック：ワールドミッション』（2016年）などでアクションシーンを演じ、“ワイスピ”シリーズでも第7作と第8作に参加している。最近では、ロバート・ロドリゲス監督のサイエンスアクション映画、『アリータ：バトル・エンジェル』（2019年）でスタント俳優を務めた。

で設計されたスチール製のパイプフレームである。

マッカーシーはこう説明する。「シャーシの製造にそれほど時間はかからなかったが、車体にいろいろと手間がかかった。特に、オフロード仕様のチャージャーは、ちょっとした傾斜をつけるだけでも、長い時間がかかった」

動き出すモンスターカー

マッカーシーのスタッフは、自家製のパイプフレームに、Sweeney FXのロールケージと車内パネルを載せ、500馬力のLS3エンジンを搭載してショウのファーストアタックバギーを仕上げた。また、そのほかのほとんどの車が最高品質のパーツを使って組み立てられている。キルゴアのターボ400トランスミッション、ウィルウッドのディスクブレーキ、キングの「Coilover」ショックアブソーバー、スパルコのハンドル、マスタークラフトのレーシングシート、ゼネラルグラバーの高級タイヤなどだ。

マッカーシーたちの作業が完了すると、いつものように、ファーストアタックバギーは他のスタッフ一同に披露された。誰もが称賛し、この戦闘車両の小回りの良さを試したがった。だが、それが許されたは、ほかでもないデッカード・ショウを演じる俳優のジェイソン・ステイサムに限られた。彼は、『ワイルド・スピード SKY MISSION』に登場する名車の何台かを実際に運転するという栄誉を担った。



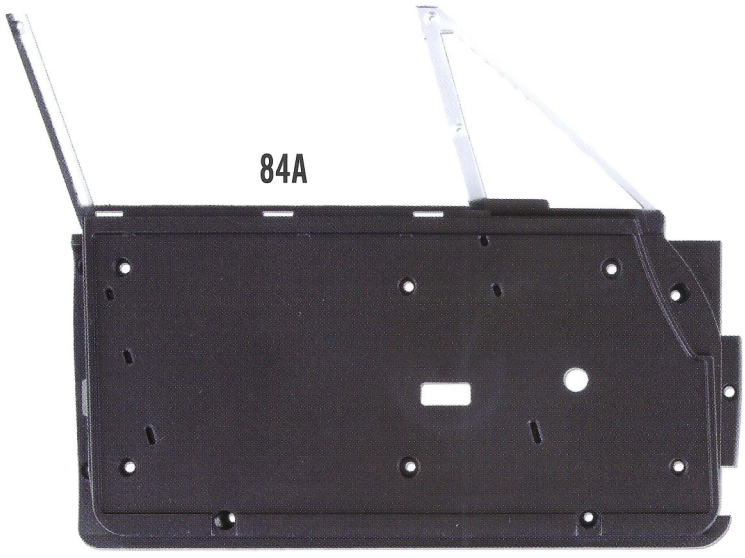
ショウの乗り込むファーストアタックバギーがハイウェイでの追走劇に加わろうものならば、周りの車を瞬時にとてつもない危険に巻き込むことは間違いない

インナードアハウジング・左を組み立てる

今号では、左側のドアのインナーハウジングを組み立てる。インナーハウジングにドアロックピンを設置しよう。

今号のパーツ

※写真は、実際のパーツとは異なる部分もあります。







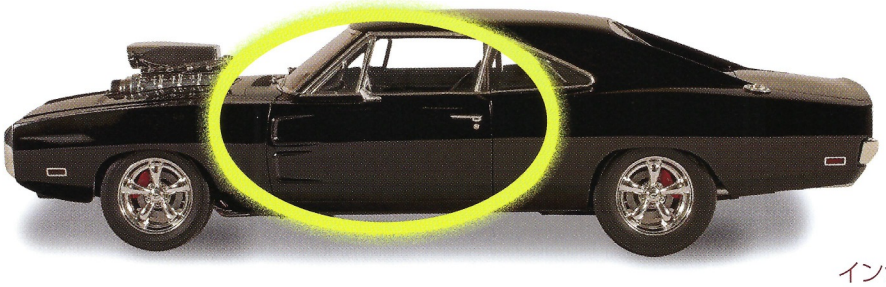




84A　インナードアハウジング・左
84B　ドアロックピン・左
84C　ロックピンスプリング
84D　ロックピンハウジング・左
84E　ロックピンハウジングサポート・左
AP　ネジ（1.7×4㎜）×3（1本は予備）

※余ったネジは後の号の予備としても使えるので、保管しておいてください。

今号の組み立て

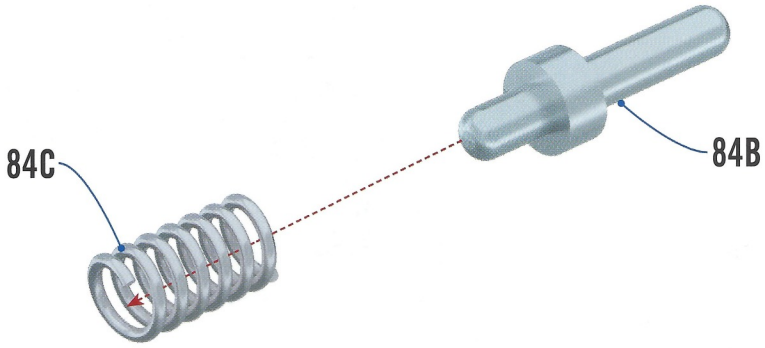


インナードアハウジング・左

※組み立て図は、実際のパーツとは異なる部分もあります。

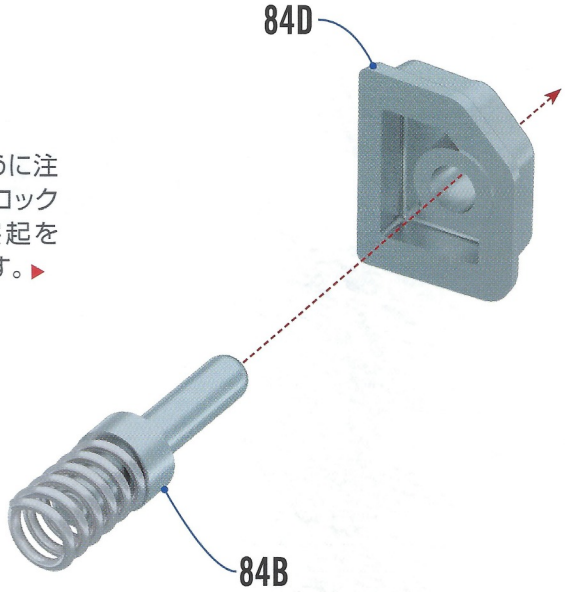
84.1

84B(ドアロックピン・左)の短い方の突起を、84C(ロックピンスプリング)に通す。▼



84.2

スプリングが外れないように注意しながら、84B(ドアロックピン・左)の長い方の突起を84D(ロックピンハウジング・左)の穴に通す。▶



インナードアハウジング・左を組み立てる

84.3

84A（インナードアハウジング・左）の内側、図の位置に、84.2のブロックを組み合わせる。スプリングを縮めながら、丸囲み図のように組み合わせよう。▼

MOVIE

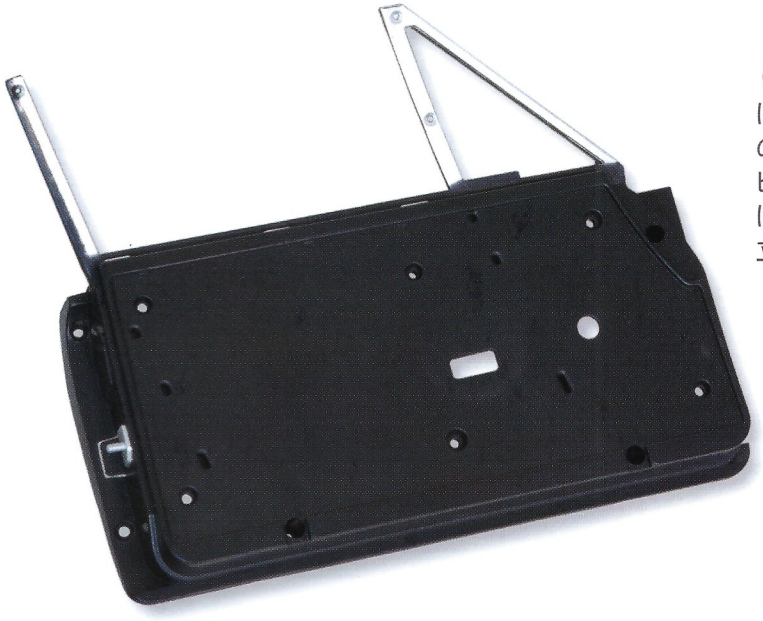




84.4

84E(ロックピンハウジングサポート・左)を図のように当て、2本のAP(ネジ)を締めて固定する。▲

今号の完成



これで今号の組み立ては終了。左側のドアの内側のハウジングに、ドアロックピンが設置された。次号では、インナーパネルを組み立てる。



ダッジ・アティテュード

1998年、ダイムラー・ベンツ・グループとクライスラー社の合併を受けて、クライスラーは合併後の会社が新たな市場、新たなセグメントに参入することを決定した。その結果、ダッジのブランドを使ってメキシコで投入されたのがダッジ・アティテュードである。韓国の現代(ヒュンダイ、ヒョンデ)自動車が製造していた低価格の小型車だ。

↑メキシコで販売されているダッジ・アティテュードは、三菱・アトラージュの名前を変えたものだが、フロントグリルには明らかに、アメリカ車の特徴が見てとれる

ダイムラー・クライスラー・グループには当時、メキシコ国内のエントリー価格市場で競えるモデルがなかった。そこで、韓国の現代自動車との合意によって、ヒュンダイ・アクセントを現代のロゴを残し、ダッジ・ヴェルナとして販売することになった。この試みが成功したことを受け、2006年に、現代がアクセントをリニューアルした機会に新しいモデルが投入される。これがダッジ・アティテュードである。4ドアセダンで全長は4.3メートル、110～124馬力のエンジンが搭載された。ダッジ・ヴェルナと違って、こちらはダッジのロゴが採用されている。

2011年にメキシコで発表された第2世代のダッジ・アティテュードは、やや長くなり(全長4.37メートル)、エンジン出力は110～140馬力となった。トランクが大きくなり、これまでよりエレガントなラインで、何よりも高級感のある仕上がりだ。メキシコでは、旧モデルに代わって2015年に第3世代まで販売された。

2014年には、クライスラー社がフィアット社と合併したため現代との契約は解消された。その後、三菱自動車との契約が成立し、メキシコ国内で三菱・アトラージュがダッジブランドで販売されるようになる。77馬力の1.2リットルエンジンを搭載したアトラージュはタイで生産されたが、輸出車にはダッジの他のモデルにインスパイアされたフロントグリルが採用されている。



→ダッジ・ヴェルナ。ダッジブランドで販売された現代自動車初のモデルで、ロゴは現代のままだった



『ワイルド・スピード』ワールド

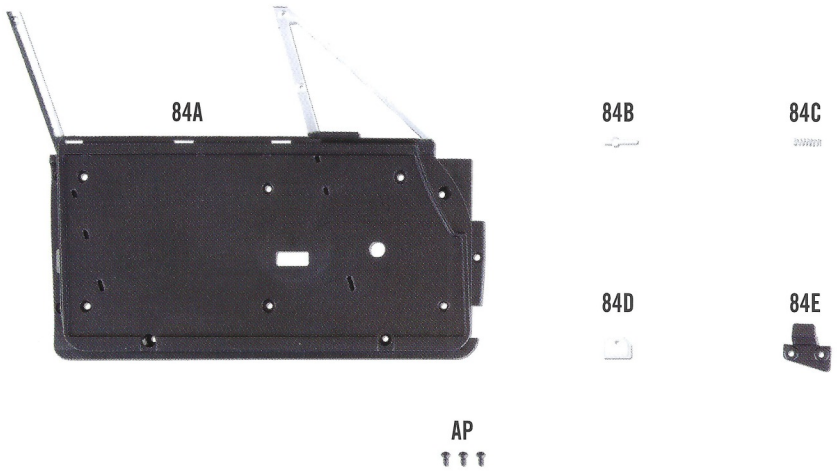
デッカードが乗るモンスターカー、ファーストアタックバギー

キャラクターの個性も作り出している“ワイスピ”に登場する車。全身が鋭利な刃物のようなデッカード・ショウというキャラクターには、洗練された高級車も、荒っぽい立ち回りに適したファーストアタックバギーも似つかわしい。

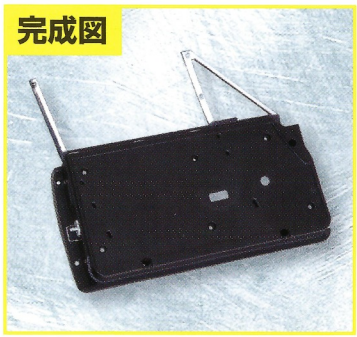
組み立てガイド

インナードアハウジング・左を組み立てる

今号のパーツ



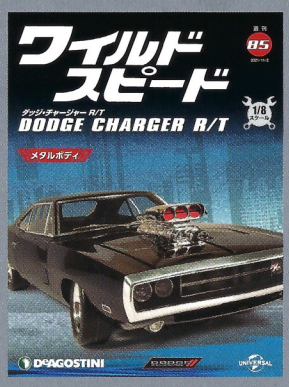
完成図



84A インナードアハウジング・左
84B ドアロックピン・左
84C ロックピンスプリング
84D ロックピンハウジング・左
84E ロックピンハウジングサポート・左
AP ネジ(1.7×4㎜)×3(1本は予備)

ダッジヒストリー

ダッジ・アティテュード



次号予告 第85号

10月26日(火)発売

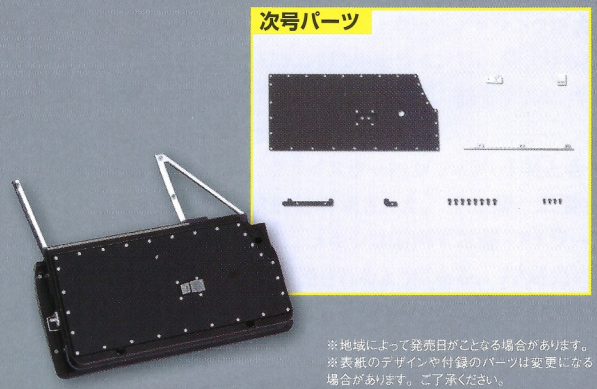
価格 1,859円(10%税込)

『ワイルド・スピード』ワールド
“ワイスピ”シリーズのサウンドトラック

組み立てガイド
ドアインナーパネル・左を組み立てる

ダッジヒストリー
ダッジ・アベンジャー
2003年式 コンセプトカー

次号パーツ



※地域によって発売日がことなる場合があります。
※表紙のデザインや付録のパーツは変更になる場合があります。ご了承ください。

©2021 Universal City Studios LLC. All Rights Reserved.
Dodge and related logos, vehicle model names and trade dress are trademarks of FCA US LLC and used under license by Editorial Planeta DeAgostini, S.A.U.

注意および警告 必ずお読みください

●この商品は14歳以上を対象に設計しています。玩具ではありません。
●本シリーズで提供される部品は、乳児や小さい子供の手が届かないところで取り扱ってください。小さい部品は誤飲の危険性があります。
●部品の中には先のとがった縁端部を持つものがありますので、ケガをしないように慎重に組み立ててください。
・高温多湿、及び低温の環境では使用をおやめください。精密電子部品を使用していますので、作動不良や感電、ショートなどによる事故が起きる可能性があります。
●作動中は周囲の安全に気を付けてください。本誌は組み立てキットですので、動作結果について100%の安全性は保証致しかねます。
●不安定な場所で動作させないでください。狭い机の上などで動作させると振動のため、周辺への衝突や落下など、本製品の故障の原因となります。
●本シリーズで提供される部品は、十分な広さのある場所で取り扱い、開封後はなくしたり、落とさないように注意してください。重い部品が落下するとケガにつながったり、床面、机等にキズを残す原因になります。

免責条項

●発行元は「ワイルド・スピード ダッジ・チャージャー R/T」の組み立てに関して、お客様お一人お一人を直接指導することはできかねます。本誌「組み立てガイド」に記載されている詳しい手順を毎号よく読んでから組み立ててください。
●発行元は、間違った組み立てや取り扱いの誤りによって生じたいかなる損害に関する賠償責任を負いません。必ずすべての注意、指示を十分にお読みになってから使用してください。発行元は、いかなる道具および材料によって生じた損害に関する賠償責任を負いません。紛失した部品やお客様側で破損された部品の交換は、有償となります。発行元はお客様が組み立てたモデルの修理にはお応え致しかねますのでご了承ください。部品およびデザインは、予告なく変更される場合があります。
※輸送の際、カバーに傷や汚れ等が付く場合がありますが、雑誌およびパーツ本体に傷、破損がない場合はお取り替えできない場合もございますのでご了承ください。

価格 1,859円(10%税込)
通巻84号
2021年10月26日発行
雑誌35004-10/26
4910350041010 01690

週刊 ワイルド・スピード ダッジ・チャージャー R/T
No.84
発行所:〒104-0054 東京都中央区勝どき5-2-15 EDGE勝どき 株式会社 デアゴスティーニ・ジャパン
発行人:谷健二 編集人:加藤美香子 毎週火曜日発行
書店専用注文センター TEL:03-6730-3044(月~金 10:00~17:00 土日祝日を除く) FAX:03-5212-9892 書店専用注文WEBサイト https://www.dbooks.net/